「2018年5月1日から2018年9月30日の間に細胞診検査を当院で行われた患者さん、またはそのご家族へのお知らせ」
課題名：「セルブロック作製におけるアルギン酸パック法の試み」

当検査室では，川崎医科大学・同附属病院倫理審査委員会の承認を得て，2018年5月1日から2018年9月30日の間に細胞診検査を当院で行われた患者さんの検査後の残検体の尿、体腔液（胸水、腹水、髄液等)、婦人科材料（頸部、頸管、体部、膣等)、呼吸器材料（喀痰、畜痰、気管支擦過等)、消化器材料（胆汁、膵液、十二指腸液等)、臓器穿刺（乳腺、甲状腺、唾液腺、リンパ節等）を用い，細胞診検体処理のひとつであるセルブロック法についての基礎検討を部内で行います。
本検討の目的は，細胞診検体処理のセルブロック法を改良することにより、保存した同検体を用いて将来行われる可能性のあるコンパニオン診断に適した材料の保存状態の改善を図り，治療薬の選択精度を高め，今後の臨床現場に役立てることです。
研究実施期間は倫理委員会承認日から2018年12月31日までの予定です。
対象は、2018年5月1日から2018年9月30日の間に細胞診検査を当院で行われた患者さんです。

1．　本検討は，セルブロック法の素材を検討することが主な目的で、最終確認のため残余検体を使用します。患者さんの個人情報を匿名化した状態で研究するため、個人情報が外部に漏れる心配はありません。また、研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいますが、この研究ではメーカーからの提供を一切受けることなく自施設の機器・試薬のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

2．　本研究に関する質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、計画書等を閲覧することができますのでお申し出ください。
また、検体が本研究に用いられることについて患者さんもしくはそのご家族の方でご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
問い合わせ先：病院病理部　小林　博久
電子メール：hkoba@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL:086-462-1111（内線24129)